

# 咬合調整の少ないクラウン製作

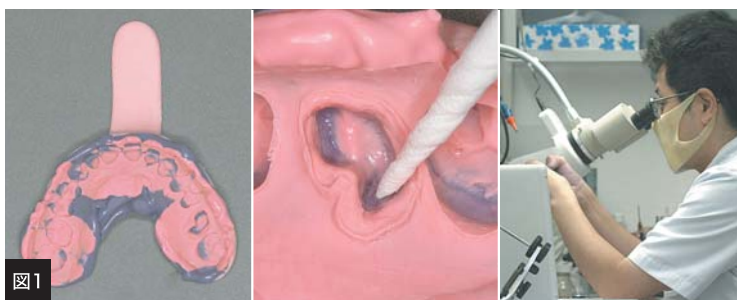
高い  
クラウンが  
できる要因

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 人為的ミス | ◎材料・器具の操作・管理ミス ◎模型の破折<br>◎咬合面の気泡取り不足 ◎咬合器の付着ミス 等   |
| 2. 材料の問題 | ◎印象材、咬合記録材、石膏、鑄造などの寸法変化                            |
| 3. 生体の問題 | ◎動揺歯などの歯牙の変位 ◎印象時における下顎歯列弓幅径の減少 ◎咬合採得時における頭位、体位の影響 |

なかでも一番のポイントが「生体の問題」で、この対応を考慮しながら作業を進めます。

## Step1 精度の高い作業模型のために

### 1 ● 歯科医院からのシリコーン印象



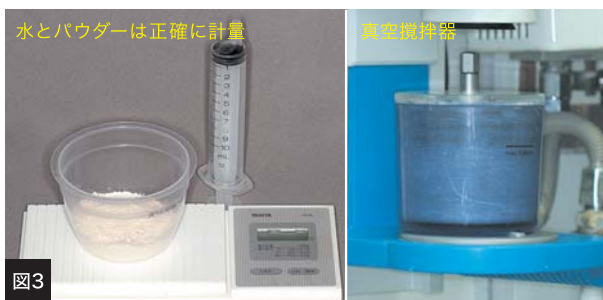
シリコーン印象が石膏を注がずに送られてきた場合には、まず衛生面を考慮して洗浄する。洗浄後は、マイクロスコープなどで細部を確認しながら水分を完全に除去する。隅角部などはティッシュペーパーをこより状にしてなぞると、きれいに水分が取れる。

### 2 ● 模型材の管理



石膏パウダーは常に湿度を25～35%に保つように**ドライボックスで管理する**。水は蒸留水を常に室温の状態を使う。

### 3 ● 正確な計量で攪拌



粉液の量はメーカー指定の数字を忠実に守ることが精度の高い作業模型には大切。石膏の精度を十分に引き出すためにも**真空攪拌器で正しい攪拌を行う**。

### 4 ● 湿箱で石膏を硬化



石膏を注がずにシリコーン印象が送られてきた場合、一次石膏には超硬石膏を使用して**必ず湿箱の中で硬化させる**。加圧釜に入れると、内包された気泡が圧縮され印象材全体の变形につながるため、加圧釜は使用しない。

各歯科医院内においてのアルギン酸+寒天印象に石膏を注ぐ場合も同様に、湿箱の中で硬化させることをお願いしている。